



上田高等学校
関西同窓会報

第51号
2020年(令和2年)
7月17日(金曜日)
編集発行
上田高等学校関西同窓会

9月5日(土)に第30回総会・懇親会

上田高校関西同窓会の第30回総会・懇親会は、令和2年9月5日(土)、新大阪の大阪コロナホテルで開催されます。今年の講演会は、大阪大学名誉教授で免疫学が専門の宮坂昌之先生に、「新型コロナウイルスと今後どのように付き合うべきか」と題してお話いただきます。

新型コロナウイルスの感染の波は一時のピークを過ぎ、政府も緊急事態宣言を解除して経済の回復を目指しています。しかし今後、第二波、第三波が押し寄せる可能性は否定できません。



この状況で私たちは今後どんなことに注意して過ごしてゆけばよいのか。宮坂先生から新型コロナウイルスとの付き合い方を教えていただきます。総会ではマスク着用で互いに離れて座り、懇親会の食事では参加者にフェイスシールド(写真)をプレゼントし着用していただくなど、感染対策には万全を尽くします。

《講演会》 **新型コロナウイルスと今後どのように付き合うべきか**

《講師》 大阪大学名誉教授 宮坂昌之先生

講師のプロフィール

上田高校 64 期卒。1973 年京都大学医学部卒業後、病院勤務などを経て、1981 年オーストラリア国立大学にて PhD(免疫学)取得。(財)東京都臨床医学総合研究所・免疫研究部門・室長・部長などを経て、1994 年より大阪大学教授(医学部、医学研究科)。現在は大阪大学名誉教授、同免疫学フロンティアセンター招へい教授。中学時代より剣道に親しみ、上田高校では剣道班所属。現在も時間を見つけては稽古している。剣道教士 7 段。 **講師のメッセージ** 次ページに掲載しています。

..... ◆第30回総会・懇親会案内◆

【とき】2020年9月5日(土)

- 受付開始 10:00
- 定期総会 10:30~11:00
- 講演会 11:10~12:10
- 懇親会 12:30~15:00

【ところ】大阪コロナホテル 大阪市東淀川区

西淡路 1-3-21 tel.06-6323-3151

総会: 2階 310 会議室 懇親会: 203 会議室

【会費】 会員: 7,000円

ご家族: 5,000円 初参加会員: 5,000円 学生会員: 3,000円

【アクセス】 JR新大阪駅東口(西淡路方面口)より徒歩2分



またもや自然の力の大きさを実感・痛感しました

会長 竹内俊隆（68期）



皆さんこんにちは。今年はコロナ禍で花見どころではありませんでしたが、お元気でご活躍中のことと拝察いたします。今後あると予想される第二波、第三波に対応するためには適度な行動制限などが求められますが、一方経済的には大打撃を受けている方々、特に自営業者その他の方々からすると生活にかかわる死活問題でもあります。どうバランスをとるか難しい判断を迫られる局面が、今後もあるかもしれません。大学も慣れないオンライン授業をしてきましたが、一部解除するか否か議論の結果、小職が奉職する大学では、結局春学期終了までオンライン授業を継続することになりました。

振り返ると、昨年秋は異常気象により故郷上田に大きな台風被害が生じました。上田橋上流のあの赤い鉄橋が崩落するという、夢想だにしなかった被害も発生しました。今年は、ご存知のようにコロナ禍です。コロナを巡っては、いろいろな情報が錯綜し、我々素人ではなかなか判断がつかないこともあります。そこで、上田高校の同窓生であり、しかもウイルスなどの感染症の専門家である宮坂先生にご登壇いただき、コロナ問題を語っていただくことにしました。乞うご期待です。皆様お誘い合わせの上是非ご参加ください。

なお、コロナ対策はしっかりしたうえで開催の予定ですが、今後の展開次第では開催中止になる可能性が排除できないことはご留意ください。

.....
<総会講師のメッセージ>

新型コロナウイルスと今後どのように付き合うべきか

宮坂昌之（大阪大学名誉教授）

今年は新型コロナウイルス感染で、皆さん、大変な思いをされたことと思います。多くの地域では感染が収まりましたが、再び人の移動が始まると、感染流行が再燃する可能性があります。一部には「夏になって気温が上がると、コロナウイルスは高温が苦手なので感染がおさまってくるはず」という意見もありますが、一方で北半球と南半球では季節は逆なので、地球レベルでは当分の間は感染の流行が続くことになるでしょう。

このような中で、テレビのニュースや、種々の番組、さらには新聞や週刊誌などでは、毎日のように新型コロナウイルス感染のことが報道されています。専門家といわれる人たちが実に多様な意見を述べていることもあり、この新型コロナウイルス感染では「何がわかっている、何がわからないのか」、「何が正しくて、何がそうではないのか」、などなど、皆さんには頭をひねることが多いのではないかと思います。そして、困ったことに、中には科学的なエビデンスのない情報もあります。

個人レベルでこうした怪しげな情報に踊らされると、感染リスクを高める行動をとることにつながり、さらには無用なストレスに苛まれることにもなりかねません。このようなことを未然に防ぐには、まずは、正しい情報を得て「健康リテラシー」を上げ、感染リスクを軽減するための合理的方法をとることが必要です。

そこで、ここでは新型コロナウイルスに関する常識をお互いに確認するとともに、今後どのようにしてこのウイルスと付き合っていくべきか、お話をさせていただきます。

＜本部同窓会だより＞

お堀の整備完了！ かつての姿に戻りました。



お堀の浚渫工事・後方は同窓会館（2020年4月）



満々と水をたたえたお堀（2020年6月）

お堀の整備は浚渫工事が2月に着工しましたが、暖冬による汚泥の液状化で困難な作業が続いたため予定より工期が伸び、さらに卒業式から入学式の間は工事を休止したため、終了したのは5月初。5月8日から水を入れ6月12日に満水になりました。信濃毎日新聞（東信版）は6月13日付で「上田高校のお堀整備完了 同窓会尽力 かつての姿」との見出しで『大がかりに泥をさらったのは約40年ぶりといい、ハクチョウが泳いでいたかつての姿に戻った。同窓会が120周年記念事業として2千万円を負担。1月から水を抜いて泥を取り除き、新設したポンプで5月8日から水を入れていた。同窓会は「水量はかつてより多い。上田の宝としてこの姿を維持していきたい」としている（要旨）』と報道しました。

母校の管理諸室に空調設備を寄附

生徒が使用する普通教室のエアコンは、県内でも早く前回110周年で設置済でしたが、今回は公費ではなかなか導入できない校長室、教務室、保健室、事務室等の管理諸室にエアコンを設置しました。職員・生徒の皆様には喜んでいただいております。また、同窓会館は二階ホールをはじめ各部屋に設置されました。短期間ですが卒業生が学習室で、入試に向けて活用しました。

2020年度会員大会中止と創立120周年記念式典延期

5月23日の2020年度定時総会後の理事会で、新型コロナウイルス感染防止の見地から、今年度の会員大会の中止を決めました。会の性格上、実施するといわゆる「3密」を作り出すこと、ご高齢の会員の参加が多いこと、東京、大阪など遠隔地からの参加者もいることなどを考慮した結果です。これに伴い、併せて行う予定だった創立120周年記念式典が開催不能となりました。理事会で議論した結果、創立120周年記念式典は来年10月16日（土）に予定されている2021年度会員大会と併せて行うことになりました。

引き続き「母校120周年記念事業寄附」にご協力をお願いします。

母校120周年事業寄附の募集金額は6月末で3410万円となり、目標額4600万円の74%です。寄付していただいた同窓生の総数1,911人で、会員約25,000人の7.6%です。募集期間は10月が目途ですが、2020年度内受け付けております。寄付をご失念されている方もおられるかと存じます。まだの方は、皆様にお送りした「古城の門」7月号に同封されている振込用紙にて、ご送金いただきますようお願いいたします。

情報提供

倉澤克彦事務局長(73期)

六月によく生徒の登校が始まりました



私は教頭としても在籍しましたので、これで上田高校に5年間お世話になります。長く務めるにつれ、ま

すます本校の魅力と同窓生のみなさんの母校愛の強さを深く理解するところです。今後ともよろしくをお願いします。

さて、コロナウイルスの感染拡大にともない、2月末から長く休校が続き、卒業式も入学式も特別な措置をとりながらの実施となりました。6月によく生徒の登校が始まりましたが、それまで先生方は動画を配信したり、クラウドに生徒をアクセスさせたり教材を郵送したりして、学力保障に取り組みました。

また、平素の学校の教育活動も大きな制約を受けています。ご存じのように高体連や高野連、高文連の大会は軒並み中止になりましたし、吹奏楽班の定期演奏会やコンクールもなくなってしまいました。さらに松尾祭も例年のような開催はかなわず、台湾への研修旅行も中止になりました。この3月に予定されていたボストン、フィリピン、カンボジアへの渡航研修もできませんでした。

<進路状況>

厳しい状況の学年、現浪ともに健闘

進路指導主事 櫻井 敦

上田高校の教育に深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今春卒業生は、SGH指定最終学年、秋には台風大被害、国公立大入試の時期にはコロナウイルス感染と厳しい状況の学年でした。加えて、センター試験最終年度に伴う超安全志向、私立大合格者数絞り込みといった環境の中、現浪ともに健闘しました。

国公立大学には現役生145名合格。埼玉・金沢大学で合格者が増えました。旧帝大は現浪合わせ11名。北海道大学1名、東北大学6名、東京大学1名、名古屋大学2名、大阪大学1名でした。医学科は現浪で国公立大学3名、私立大学2名でした。私立大では、立教・中央大などで例年以上の合格を勝ち取りました。SGH活動を生かしたお茶の水大学、名古屋大学、早稲田大学などの合格もみられま

上田高等学校長 廣田 昌彦

経済的な損失についてはそれを正確に把握し、今後を予測する方法もありますが、今回学校が被った教育機会の意義深さについての被害を、どのように計上し、何で補填したらよいのでしょうか。このコロナ禍を経験した若者が、どのように自らを律し、未来についてどんな教訓を導いたらいいのだろうとこのごろよく考えますが、それについては今後機会をとらえて生徒諸君に語りかけていきたいと思っています。

5年間続いたSGH事業は昨年度で終了しました。その後、長野県教育委員会はワールド・ワイド・コンソーシアム構築事業を文科省に申請し、上田高校はその拠点校として三年間の指定を受けました。今後も探究活動や海外研修、海外の教育機関と連携をとりながら高校生国際会議など、刺激的な教育機会を実現してまいります。

同窓会が創立120周年を祝う記念事業として取り組んでいただいたお堀のしゅんせつ、校内管理諸室の空調設備の設置等は、多くの同窓生の皆様のご厚志により完了しました。今度学校にいらしたときは是非、お堀をご覧くださいと思います。文化財としての堀や塀、古城の門の保全方法につきましては、今後とも関係方面と方法の検討を重ねてまいります。同窓生の皆さまには、本事業にご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございました。

した。大学入試制度や環境は現在激変しておりますが、進路実績において、地域・保護者、同窓会の皆様から信頼される学校を目指します。ご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

2020年入試進路実績

大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒
国立大学			公立大学			千葉工業	1	0	東京女子	2	0	金沢工業	6	6
北海道	0	1	高崎経済	9	3	麗澤	1	0	東京女子医科	1	0	北陸	1	0
岩手	1	0	前橋工科	1	1	亜細亜	3	2	東京電機	4	2	佐久	10	0
東北	5	1	埼玉県立	1	0	青山学院	4	3	東京農業	2	4	松本	3	0
山形	1	0	東京都立	3	1	大妻女子	4	0	東京理科	5	5	清泉女学院	4	1
福島	3	0	横浜市立	1	1	学習院	3	1	東洋	33	11	愛知	3	0
茨城	2	0	新潟県立看護	0	1	北里	5	1	二松學舎	1	0	愛知学院	1	0
筑波	2	1	新潟県立	2	0	共立女子	5	1	日本	17	9	愛知工業	1	0
群馬	1	2	富山県立	1	1	杏林	5	0	日本女子	4	0	金城学院	1	0
埼玉	7	1	長岡造形	1	0	国立音楽	1	0	日本赤十字看護	1	0	中京	4	0
千葉	7	1	公立小松	1	0	慶應義塾	3	2	日本体育	1	0	中部	1	0
お茶の水女子	1	0	金沢美術工芸	1	0	工学院	4	0	法政	13	8	名古屋外国語	1	4
電気通信	0	1	福井県立	1	0	國學院	9	2	東京都市	9	0	名古屋学院	1	0
東京	0	1	都留文科	2	0	国土館	1	0	武蔵野	12	1	藤田医科	1	0
東京外国語	2	0	山梨県立	1	0	駒澤	9	11	明治	10	13	南山	4	0
東京学芸	5	1	長野県看護	4	0	実践女子	1	2	明治学院	2	3	名城	6	0
東京海洋	1	1	長野県立	1	0	芝浦工業	5	4	明治薬科	2	0	成安造形	0	1
東京農工	0	1	公立諏訪東京理科	2	1	順天堂	15	0	明星	1	0	京都外国語	1	0
横浜国立	1	0	静岡県立	2	0	昭和	4	0	立教	11	5	京都産業	2	0
新潟	7	3	滋賀県立	2	0	昭和女子	4	0	立正	1	0	京都女子	4	0
上越教育	2	1	新見公立	1	0	昭和薬科	2	0	早稲田	5	3	京都橘	1	0
富山	6	2	高知工科	1	0	成蹊	6	1	学習院女子	2	0	佛教	1	0
金沢	18	0	名桜	0	1	成城	4	6	東京工芸	2	0	立命館	10	8
福井	1	0	公立大計	38	10	専修	12	5	東京未来	1	0	龍谷	5	0
信州	28	6	私立大学			大東文化	7	0	麻布	0	2	関西	2	7
静岡	1	2	国際医療福祉	5	1	大正	1	0	神奈川工科	2	0	関西外国語	0	1
愛知教育	0	1	高崎商科	3	0	拓殖	2	0	神奈川	4	6	近畿	2	5
名古屋	2	0	群馬パース	5	0	高千穂	0	1	関東学院	3	0	その他	3	3
滋賀	0	1	高崎健康福祉	2	0	玉川	2	0	相模女子	1	0	私立大学計	439	178
大阪	0	1	城西	4	0	中央	22	14	産業能率	0	1			
広島	2	0	獨協	5	3	津田塾	11	0	フェリス女学院	2	0	公立短期大学	0	0
香川	1	0	文教	3	3	帝京	4	1	新潟国際情報	1	0	私立短期大学	2	1
高知	0	1	目白	1	0	東海	6	3	新潟工科	0	1	文科省所管外	0	3
国立大計	107	30	城西国際	1	0	東京家政	2	0	湘南医療	1	0	専門学校等	3	0
			聖徳	4	0	東京工科	5	0	金沢医科	1	1	就職	0	0

郷土の先覚者赤松小三郎

48期 関口貞雄

第13回文化サロンが2020年2月15日(土)、大阪上本町のホテル・アウイーナにて開催され、関口貞雄様から郷土出身の幕末志士赤松小三郎の生涯とその施策「建白七策」が後世に与えた影響を中心に講演いただきました。赤松小三郎は現実の政治に無頓着な理想主義者で、それ故に西郷隆盛から危険視され薩摩藩により暗殺されたというのが実話のようですが、信州人としていろいろ考えさせられるお話でした。(武舎)

赤松小三郎の生涯



赤松小三郎は天保2年(1831)4月4日上田藩士芦田勘兵衛、志賀夫妻の二男として上田市木町で出生した。幼名は清次郎。父勘兵衛は十石三人扶持の下級藩士で、藩校明倫館

堂の句読師(教官)を務めていた。12歳で藩校に入学し、文学校の明倫堂では儒学、武学校では槍術と剣術を学んだ。

江戸遊学

嘉永元年(1848)清次郎17歳の時、修学のために江戸へ発った。内田五観塾へ入塾したが、新しい西洋の学問を初歩から学ぶには蘭語の習得が先ず不可欠であることを教えられ、蘭語の勉強に集中して努力し、師にその才能を認められた。江戸遊学から上田へ戻った清次郎は父の同輩赤松弘の養子となり、赤松小三郎を名乗った。赤松小三郎は上田藩の数学助教兼操練世話役となった。

勝麟太郎の氷解塾へ入塾し長崎へ



安政2年(1855)江戸へ出た小三郎は師・内田五観の紹介で勝麟太郎(左写真)の氷解塾へ入塾した。少禄の赤松家は学費が払えず、勝家に寄宿して家事を手伝うこ

とで授業料を免除してもらった。数学と蘭語に優

れた小三郎は頭角を現し、師に認められた。

同年、勝が幕府の開いた長崎海軍伝習所で勉強する学生長に任命され、小三郎は勝の従者に選ばれ、員外聴講生として入所する機会が到来した。安政2年(1855)9月、品川から軍艦昇平丸に勝以下伝習生113名が乗船し、長崎へ航海した。長崎ではオランダ船スピン号船長ライケン大尉を団長とした乗組員で教師団が形成され、科目は航海術、造船術、砲術、蒸気機関、天測等であった。約1年半の伝習期間終了後、安政4年(1857)3月小三郎は江戸へ戻った。

オランダ兵法書翻訳

江戸で滞在中、オランダの兵法書「新銃射放論」(オランダ水陸軍練兵学校教科書)を翻訳して「矢ごろのかね(小銃教練)」を自費出版した。この本の出版で小三郎は洋式兵学者として認められるようになった。

松代藩士白川久左衛門娘たかと結婚

江戸より上田へ戻り上田藩の職務に専念し、数学測量世話係、西洋銃調練稽古世話係に任じられた。この時、実父の友人が松代藩士白川久左衛門の娘たかとの縁談を持ってきた。小三郎は松代へ出向いて白川たかと見合いを行い結婚した。

英語学習し「英国歩兵練法」を翻訳、出版

元治元年(1864)9月、幕府の発した第一次長州征伐令に上田藩は江戸警備を命じられ小三郎も出陣した。これからは



英語が新知識吸収のために絶対に必要であると

考え、神奈川宿の英国公使館付アフリン騎兵大尉から英語と騎兵操典を学んだ。

江戸にて砲術習得のため入塾を予定していた応徳館主下曾根金三郎から、英語で書かれた歩兵訓練、銃隊調練の五編八冊の翻訳を依頼された。加賀藩の浅津富之介とともに共同で翻訳が完成し、漸く出版に漕ぎつけた。

京都で英国式兵学塾開く

京へ上った小三郎は上田藩邸（現在京都市中央図書館の地）を訪ね、開塾願いを提出して協力を願い出た。留守居役の協力を得て、二条城に近い二条衣棚に空き家を借り、「英国式兵学塾赤松小三郎天雲塾」の看板を掲げて開塾した。一説では河原町とも伝えられる。



薩摩藩屋敷跡

慶応2年（1866）3月薩摩藩より使いが来て、天雲塾を薩摩藩邸内（現在同志社大学構内）に移し、薩摩藩士を優先して教育する話が持ち込まれた。この提案を小三郎は承諾した。薩摩藩邸内の

塾には他藩の希望者の入塾も認められ、薩摩藩士約50名のほか、福井藩士数名、大垣藩士等が入塾した。授業科目は英国式兵学（歩兵、騎兵、射撃）、西洋戦史、航海術、算術等があり、課外授業として英語の初歩、公武合体による政治改革などがあり講義された。

「建白七策」を提出

慶応3年（1867）5月、旧態依然たる幕府の政治体制、教育制度等を改める目的で「建白七策」を執筆し、福井藩主松平春嶽に提出した。春嶽が小三郎の率直な意見を聞きたくて要望したものである。この「建白七策」は同時に薩摩藩国父島津久光と幕府へも提出された。公武合体を念頭に置き、天皇を頂点とする統一した近代国家像を画いたもので、上下二局の議会政治を主張し、教育制度の充実、公正な税負担、貨幣の統一、国防軍の充実、産業改革等を唱えた建白書で、七箇条、

三千字を超える卓抜な堂々たる論文であった。

赤松小三郎暗殺される

再三の帰国命令を無視して延期してきた小三郎は、「建白七策」を書き上げて提出したので帰国を決意した。慶応3年



暗殺の現場

（1867）9月3日、帰国準備で多忙な

中、東洞院通り五条下ル和泉町で刺客に襲われて絶命した。京を離れる予定の前日のことで、塾生による送別会が行われた直後のことであった。

赤松小三郎は公武合体の主張を実現するために、京都町奉行永井尚志（元長崎海軍伝習所長）が元上司であったことから積極的に接近し、梅沢孫太郎（一橋慶喜の近臣）とも連絡をとり、薩摩藩の西郷隆盛との仲介に奔走した。これが武力討幕に舵をきった薩摩藩には小三郎が幕府の手先、スパイと疑われ、藩の軍事機密を幕府に通報される恐れから暗殺に至ったと推定される。

昭和42年（1967）、薩摩藩の桐野利秋（中村半次郎）の日記が発見され、事件の真相が明らかとなった。直接の命令者は明記されていなかったが、藩命により師の命を奪ったことが生々しく書かれていた。

「建白七策」の後世への影響

「建白七策」は、公武合体、諸藩一和の新政権を基本理念としていた。天皇の下、内閣を総理、財政、外交、軍事、司法、税務の閣老で構成し、上下二局の議政局を設け、上局は諸侯、旗本から選挙によって30人を選び、下局は一般国民から130人が選挙で選ばれるものとした画期的な提案であった。「天皇によって許容されない箇条は議政局で再審議し、天皇に建白して、議政局より国中に布告すべし。」とまで主張し、民意の反映を重んじた議会政治を提唱した。赤松の提言と思想は「五箇条の御誓文」の骨子となって生かされている。

※上田城公園内に赤松小三郎記念館があります。開館：土曜・日曜・祝日 11：00－16：00

入場料：無料です。帰省の折はお立ち寄りください。

紅葉の名所

二上山山麓の古刹 当麻寺・石光寺を巡る

本年の文化交流会は紅葉の名所として知られる二上山山麓の古寺当麻寺を訪れます。当麻寺は612年聖徳太子の弟・麻呂子親王により創建され、天平時代の東西両塔・金堂のご本尊弥勒菩薩、そして日本の白雪姫として知られる中将姫が蓮糸で綴れ織ったと伝わる当麻曼荼羅等多くの国宝・重要文化財を有する名刹です。また、石光寺は当麻寺の近くにある古刹で、日本最古の石仏で知られています。

なお、本年は新型コロナウイルスの感染リスクを鑑み、室内での懇親会は中止し、昼食は各自でお弁当を用意していただき、青空の下で食事をいたしますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



紅葉の当麻寺



当麻曼荼羅の絵解き

1. 開催日 2020年(令和2)11月7日(土)
2. 集合場所 近鉄南大阪線当麻寺駅改札
(近鉄大阪阿倍野橋駅から橿原神宮前行準急で約38分 阿倍野橋 8:54 - 当麻寺 9:32)
3. 集合時間 9時45分(時間厳守)
4. 行程 午前:当麻寺本堂・金堂・講堂拝観、中之坊にて当麻曼荼羅絵解きを体験
昼食:当麻寺近くで会食(お弁当)
午後:石光寺拝観(日本最古の石仏がある)
5. 解散場所 当麻寺駅 15:00頃
6. 会費 2,000円(当日集金します:拝観料・当麻曼荼羅絵解き謝礼)
7. 持ち物 雨具、健康保険証、弁当、飲み物、昼食時の敷物等
8. 注意事項 *午前の散策は3キロ程歩きますので、歩きやすい靴でご参加下さい。

*雨天時:開催します。なお台風等により開催不可能の場合は、当日朝8:00までにご連絡致します。

申込先 : 〒635-0013 大和高田市昭和町 8-11-226 武舎 一夫 宛

E-mail : pretrejean@nifty.com TEL : 0745-53-1237

FAX : 078-583-5775 (隅田幹事長宛)